

コース名		科目名			対象学年		
臨床医学		臨床実習Ⅲ			3		
開講学期		科目責任者		副責任者			
2 学期		森谷 卓也		桑原 篤憲			
目的							
本実習は、医療面接や身体診察を経験すること、見学型臨床実習や健康増進実習、EBM 実習を通して、生涯継続して研鑽しなければならない基本的技能や態度を身につけるための第一歩として位置づけられている。							
授業到達目標							
1. コミュニケーションの基本的事項を説明することができる。 2. 医療面接の進め方について述べるができる。 3. 物語として患者の話を聴くことができる。 4. 患者に共感的態度で接することができる。 5. 患者・他の医療従事者と良好なコミュニケーションを取ることができる。 6. 身体診察に必要な態度を理解し、適切なマナーで身体診察を行うことができる。 7. 基本的な診察機器の取り扱いや使用方法を説明することができる。 8. 身体診察の手順や方法、その臨床的意義を理解し、適切な診療手技が実行できる。 9. 有酸素運動における強度設定について説明することができる。 10. 運動療法処方箋の作成方法について説明することができる。 11. 医療情報の質について説明することができる。 12. 生涯学習の方法として、徹底的に省力化した最短アプローチの情報検索をすることができる。 13. 得られた情報を診療の中で適用することができる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容
1～6	9/24	火	1～6	実習	和迹・山下直	精神 総合臨床	医療面接および身体診察に関する共通の学習項目/医療面接(医療面接講義、模擬患者とのシミュレーション実習)/全身状態とバイタルサイン/身体診察(頭頸部、胸部、腹部、神経)
7～12	9/25	水	1～6	実習	和迹・山下直	精神 総合臨床	医療面接および身体診察に関する共通の学習項目/医療面接(医療面接講義、模擬患者とのシミュレーション実習)/全身状態とバイタルサイン/身体診察(頭頸部、胸部、腹部、神経)
13～18	9/26	木	1～6	実習	和迹・山下直	精神 総合臨床	医療面接および身体診察に関する共通の学習項目/医療面接(医療面接講義、模擬患者とのシミュレーション実習)/全身状態とバイタルサイン/身体診察(頭頸部、胸部、腹部、神経)
19～24	9/27	金	1～6	実習	和迹・山下直	精神 総合臨床	医療面接および身体診察に関する共通の学習項目/医療面接(医療面接講義、模擬患者とのシミュレーション実習)/全身状態とバイタルサイン/身体診察(頭頸部、胸部、腹部、神経)
25～30	9/30	月	1～6	実習	森谷・神田英	病理 健康管理	見学型臨床実習、健康増進実習
31～36	10/ 1	火	1～6	実習	森谷・神田英	病理 健康管理	見学型臨床実習、健康増進実習
37～42	10/ 2	水	1～6	実習	森谷・神田英	病理 健康管理	見学型臨床実習、健康増進実習
43～48	10/ 3	木	1～6	実習	森谷・神田英	病理 健康管理	見学型臨床実習、健康増進実習
49～51	10/ 4	金	1～3	実習	森谷・神田英	病理 健康管理	見学型臨床実習、健康増進実習
52～54	10/ 4	金	4～6	講義	桑原・南郷	総合臨床 非常勤/ 学園外	診療の質を高める EBM とは ～診療における疑問の解決法と医学生の勉強法～
評価方法							
[小テスト]10% (コミュニケーションおよび医療面接についての多肢選択問題を評価する。) [実習点]50% (見学型臨床実習、健康増進実習は出席・実習態度を評価する。) [出席状況(受講態度)]30% (医療面接の受講態度は、同僚評価や模擬患者評価を含む。) [その他]10% (身体診察実習中のプロダクトの作成および実技を評価する。) [評価方法]多肢選択試験、小テスト、出席・受講態度評価、実習態度評価、360 度評価、その他(身体診察実習中のプロダクトの作成および実技を評価する。) [備考]臨床実習は全出席が原則である。 医療面接および身体診察の欠席者に対しては、追加実習+実習レポート、または試験を行う予定である。 見学型臨床実習、健康増進実習について、体調不良・忌引き等で欠席した場合は、補充実習・レポート・口頭試問等で補うこととする。見学型臨床実習の補充実習実施の有無については実習科に一任しているので、欠席した場合は補充実習等の有無をクラークシップディレクターに自分で確認すること。健康増進実習の補充実習実施日時については、改めて通知する。							

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて
見学型臨床実習は実習最終日に各実習科の指導教員によるフィードバックを行う。
教科書
ISBN-9784896329131, 診察ができる vol. 1 身体診察 第1版, 医療情報科学研究所編, メディックメディア, 2023
参考書
ISBN-4895923258C3047, メディカルインタビュー, STEVEN A. COLE, JULIAN BIRD, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2003/01/20 ISBN-9784884122782, OSCE の理論と実際, 大滝純司 編集, 篠原出版新社, 2007/07/31 ISBN-9784787817426, マクギーの身体診断学 : エビデンスにもとづくグローバル・スタンダード, Steven McGee[著] ; 柴田寿彦訳, 診断と治療社, 2009 ISBN-9784895927987, ベイツ診察法, リン S. ビックリー, ピーター G. シラギ著 ; 福井次矢, 井部俊子, 山内豊明監修, メディカル・サイエンス・インターナショナル, 2015
準備学習（予習・復習等）
<p>&lt;実習全体について&gt;</p> <p>医療面接の流れ、基本的身体診察について教科書で予習すること。 身体診察の基本では必ず教科書を持参すること。 実習終了後は必ず復習をし、医療面接・身体診察について学んだことを確かなものとする。こと。 いずれも医師は一生をかけて研鑽するべきものであり、学生同士で何度も復習すること。 (予習 : 1日 30分、復習 : 1日 30分)</p> <p>&lt;医療面接について&gt;</p> <p>他の学生が医療面接中、その態度や技能を注意深く観察すること。 患者に対する最低限のマナーや態度などの基本的事項を理解すること。</p> <p>&lt;身体診察について&gt;</p> <p>診察や基本的臨床手技の実習では、常に自らや被検者の安全を確認すること。</p>
講義についての注意事項
<p>医療面接と身体診察は学年を2つの班に分けて並行して行う。班分けについては実習開始前に周知する。 身体診察実習は班員同士の教え合いや協力を重視する。 見学型臨床実習では各実習科の指導教員の指示に従うこと。 健康増進実習は各班2時間程度行う。30分程度の講義ののち、実際に運動実習を行うため、運動に適した服装及び室内用の運動靴を着用して集合のこと。</p>
昨年度からの変更点・改善項目
<p>評価方法の見直しを行った。 2023年度までは、「医療面接に関するレポート」を実施していたが、2024年度は「コミュニケーションおよび医療面接に関する小テスト」（10点）を評価することにした。</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
<p>臨床実習Ⅲは本学のコンピテンスのうち、特に「プロフェッソナリズム」「コミュニケーション能力」「医療の実践」に関連する知識や技能を修得することを目的としている。基本的知識や技能・態度は今後も臨床実習入門などで繰り返しトレーニングし、OSCE、Post-CC OSCE で十分に身に付いているかどうか評価される。</p>
ナンバリング
DCCC318